

2024年度 一般社団法人和歌山県社会福祉士会

基礎研修Ⅰ 【開催要項】

日本社会福祉士会の生涯研修制度による基礎研修についてご案内します。

基礎研修はⅠ～Ⅲの課程からなり、社会福祉士として必要な基礎知識を3年間かけて学んでいきます。社団法人日本社会福祉士会生涯研修制度の基礎課程に位置づけられており、その後の専門研修の受講や認定社会福祉士資格を取得するためには欠かせない研修となっています。(期間延長は最長6年間まで認められています。)

1年目の基礎研修Ⅰは、社会福祉士としての自覚を促すとともに、実践の基礎となる価値・知識・技術について理解することを目的として、会の歴史や本研修制度、倫理綱領や共通基盤となる知識や技術について学びます。講義部分は日本社会福祉士会のeラーニング講座を活用、グループ討議や演習等は会場での集合研修、それに伴う自宅学習(レポート課題)でプログラムが構成されています。

1. 研修概要

1年間を通じての履修となります

eラーニング視聴、年2回の集合研修と事前課題(レポート)を提出していただきます。



第1回集合研修 10月19日(土) 9:30~12:30 和歌山市内(予定)

第2回集合研修 1月19日(日) 13:30~16:30 和歌山市内(予定)

2. 受講対象者

すべての社会福祉士※(会員・非会員)

- ① 2024年4月以降に入会された新会員
- ② 旧生涯研修制度で共通研修課程修了申請をしていない会員
- ③ もう一度基礎から勉強したい会員
- ④ その他の社会福祉士

※基礎研修Ⅰについては**所属する社会福祉士会**で受講することを原則とします

※申込締切日(9月19日)までに日本社会福祉士会へ入会手続きを行なっている方は会員扱いとします(手続き中を含む)

3. 受講費

会員 20,000円 非会員 30,000円 【テキスト代込み】

4. テキスト

『基礎研修テキスト 上・下巻』(社団法人日本社会福祉士会 編集)

テキストは一括購入し後日お渡しします。

※受講料は振込となります。振込金額、振込先、期日等は「受講決定通知書」と合わせて後日ご案内します。

※なお、受講料入金後に講座途中で受講を中止しても、返金はありません。

5. 申し込み方法

「受講申込書」に必要事項を記入し、FAX または e-mail・郵送で事務局までお申し込みください。

申込締切：2024年(令和6年) 9月19日(木) 必着 (E-Mail・FAX可)

※最少催行人数に満たない場合は開催を中止する場合があります。

6. 修了の認定について

本研修は、全プログラムの受講が修了認定の条件となります。

15分以上の遅刻・早退がある場合は修了となりませんので十分ご注意ください。

遅刻、早退、欠席した科目は、次年度開催時に受講することで修了とします。

7.e-ラーニング

- 日本社会福祉士会が実施しているeラーニングの視聴が集合研修の受講要件となります。
集合研修までに対象となるコンテンツを視聴して、**受講証明書**を印刷しておいてください。

受講証明書は集合研修当日に提出してください。

- e-ラーニングの基礎研修講座の視聴にあたり、和歌山県社会福祉士会会員の方は追加費用がかかりません。非会員の方は事前に日本社会福祉士会に対して e-ラーニング利用の手続きが必要になるほか、追加費用がかかりますので ご注意ください。
- e-ラーニング講座の受講にはインターネット回線が必要です。スマートフォンでも受講は可能ですが、契約内容によっては通信上限を超える場合があります。
快適にご利用いただくためには、Wi-Fi 等、高速なインターネット接続をおすすめします。
- e-ラーニングの受講方法については別紙2 をご参照ください。

基礎研修 I 研修内容について

【ねらい】

社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する

【到達点】

1. 専門職が職能団体をもつ意義を知る
2. 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る
3. 生涯研修制度を知る
4. 社会福祉士共通基盤を知る
5. 実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る
6. 実践をふまえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範をもつ意味を知る

【集合研修】

第1回集合研修

日程：10月19日(土) 9:30~12:30 (受付9:00~)

会場：和歌山市内 (ビッグ愛等 予定)

科目：「都道府県社会福祉士会の組織」「社会福祉士としての専門性について考える」

第2回集合研修

日程：1月19日(日) 13:30~16:30 (受付13:00~)

会場：和歌山市内 (ビッグ愛等 予定)

科目：「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」

☆集合研修時にご持参いただくもの テキスト・受講証・筆記用具・昼食

★予備日として10月27日(日)、11月16日(土)、1月26日(日)を予定。

【提出課題】

期日までに課題の提出がない場合は集合研修を受講することができません。

① 事前課題 <提出〆切 10月9日(水)>

《ねらい》 専門職としての実践のありかたや研修を受ける意義を知る

テーマ	内容	レポート
①社会福祉士の役割を考える	『生涯研修手帳』を読み、社会福祉士としての専門性について考え、「生涯研修制度を通じてどのように研鑽をすすめるか」をまとめる	1200字レポート
②社会福祉士としての専門性について考える	『倫理綱領・行動規範』を声に出して読み、「社会福祉士として大切にしたいこと」をまとめる	800字レポート

注)『生涯研修手帳』は日本社会福祉士会研修センター発行を参照してください。『倫理綱領・行動規範』は日本社会福祉士会ホームページを参照してください。入会手続中の方で、お手元がない場合は事務局にご相談ください。

② 中間課題 <提出〆切日 1月9日(木)>

テーマ	ねらい	内容	レポート
①社会福祉士に共通する専門性の理解	社会福祉士の共通基盤について理解し、どの分野や立場において必要な専門職の力量について理解する	『基礎研修テキスト』上巻の「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読み、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要か、日頃の実践を振り返りながらまとめる	1200字程度
②所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ	自らの現状と課題および所属組織における現状と課題について学び、今後の方向性を考察する	所属先におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を先輩社会福祉士から話を聞いて考察し、自らの現状と課題及び組織における現状と課題についてまとめる。	1200字程度 注) 組織に属していない、または所属組織に社会福祉士がいないため作成が困難な場合は課題③の課題を3本とします。
③所属先以外のソーシャルワーク実践について学ぶ	所属組織とは異なる領域におけるソーシャルワーク実践の現状と課題について学ぶ	他領域で活躍する先輩社会福祉士から話を聞き、他領域の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察しまとめる	合計2400字程度 (領域は2カ所以上としそれぞれを1200字程度でまとめる) 注) ②の課題が提出できない場合は③の課題を3本とします
④倫理綱領・行動規範の理解	倫理綱領と行動規範のつながり、社会福祉士が行動規範を持つ意味を知り実践に役立てる	日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ自分の実践について考察する	合計2400字程度 (1項目につき1200字程度×2項目)

※原則として、各課題の提出期限は厳守していただくことを前提としますが、達成できなかった課題については、第2回集合研修受講後、12ヶ月以内に提出することができれば、和歌山県社会福祉士会生涯研修センターで合議の上、基礎研修Ⅰ修了を認める場合もあります。

送付先 和歌山県社会福祉士会事務局

FAX 073-499-4529

e-mail info@wacsw.com

申込締切：9月19日（木）

一般社団法人 和歌山県社会福祉士会

基礎研修Ⅰ 受講申込書

(ふりがな) 氏名	()
会員/非会員 ○で囲んで下さい	会員 ・ 非会員 ・ 入会申込中
会員番号 (会員の場合)	
社会福祉士資格取得年と登録番号 ※非会員の方は社会福祉士登録証の北-を添付してください。	資格取得 平成・令和 年 登録番号 第 号
自宅	(〒 -) 住所..... TEL..... FAX..... E-Mail @
勤務先名	
勤務先	(〒 -) 住所..... TEL..... FAX..... E-Mail @
緊急連絡メーリングリスト登録用 e-mail アドレス ※@
備考 (連絡事項等)	

※ 警報等発令時の緊急連絡用としてメーリングリストの作成にご協力をお願いします。登録メンバーは受講者と講師を予定しています。必ず連絡の取れるメールアドレスをご記入いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。